

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	BT芦ノ湖ホテル計画(共用棟)	階数	地下1F、地上3F
建設地	足柄下郡箱根町元箱根字大芝103-5の一部、103-440の一部	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2024年04月22日
敷地面積	7,785 m ²	作成者	一級建築士事務所 (株)入江三宅設計事務所
建築面積	1,527 m ²	確認日	2024年05月08日
延床面積	4,931 m ²	確認者	一級建築士事務所 (株)入江三宅設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
道の駅 箱根峠からバスで約35分の第1種住居地域に共用棟を計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能:T-2以上。 2.5% ≤ [昼光率]	ステンレスダクトを使用している。 給水SUS(C)、給湯SUS(C)、排水VP(B)を使用。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m =0.90。 BEI _m =0.78、LED照明設備を導入している。	「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率82% 光害対策ガイドラインと広告物照の扱いの項目の過半を満たす。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される